もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

11
Nov 2026
No.380



【特 集】里芋収穫が始まりました！

JA庄内たがわ
JA庄内たがわキャラクター 愛土くん
耕そう、大地と地域のみらい。
JAグループ



特集

里芋収穫が始まりました！

里芋目揃会

ＪＡ庄内たがわ里芋部会は10月13日、羽黒地域のＪＡ集出荷場で目揃会を開きました。参加した部会員５人は見本の里芋を手に取りながら、出荷規格や収穫から出荷までの調整作業のポイント、販売計画などを確認しました。

出荷調整作業では、里芋を一玉ずつに分けた後、腐敗を防ぐために扇風機などを使って乾燥させる必要があります。表面の土が乾いたら毛羽取りを行い、規格ごとに選別した後箱詰めして出荷します。

2026年産は、７月～９月に適度な降雨があったことから順調に肥大が進み、平年並みの収穫が見込まれます。

同部会では、総出荷量20㌧を目標とし、27年２月まで集荷を受け入れる予定です。





箱詰めした里芋

里芋の栄養効果

カリウム

里芋は、カリウムが豊富に含まれています。カリウムは、体内の余分な塩分を排出する働きをもちます。高血圧やむくみの改善に役立ちます。

ガラクタン

「ぬめり」の主成分であるガラクタンは、糖質の吸収スピードを抑える働きをもつ水溶性食物繊維です。血圧・コレステロール値の改善に役立ちます。

グルコマンナン

グルコマンナンは不溶性食物繊維です。
お腹の調子を整えたり、満腹感を維持し食べすぎを防ぐのに役立ちます。



この時期の里芋を使った料理といえば、大鍋で煮る芋煮！
写真は味噌仕立てで豚肉を入れた庄内芋煮です✨
みなさんはどんな味、具材がお好きですか？



里芋ってどんな野菜？



里芋はインド・東南アジアが原産地の野菜で、日本では縄文初期から栽培され、稲作が始まる前の重要な食料の一つであったと考えられています。

里芋はジャガイモと同じように、種芋による栄養体で繁殖します。種芋から伸びた茎についたものを親芋、その周辺についたものを子芋、孫芋と呼びます。

食べる箇所は品種によって異なり、子芋、孫芋を食べる品種（石川早生、土垂）や親芋、子芋両方食べる品種（八つ頭、セレベス）、親芋を食べる品種（京芋、たけのこ芋）があります。

三川支所管内　お茶を楽しむ会

お茶を楽しむ





お茶を楽しむ



私たち「お茶を楽しむ会」は、9名で活動しています。女性部三川支部にもともと茶窯があったことから、「せっかくならお茶をしよう」と興味ある人が集まったのが始まりです。現在は、月に一度集まり、お茶を飲み、お菓子を食べながら楽しく活動しています。

この活動はお茶を楽しむだけでなく、様々な作法を学び、人のもてなし方や、マナー、着付け、懐石料理の食べ方など日常の生活にも役立っています。

また、お茶に欠かせないお菓子は季節に合わせたものを用意しています。今の時期だと、柿やアケビをモチーフにしたお菓子を頂き、その季節を感じながらお茶や会話などを楽しみ充実した日々を送っています。

私たちは、これからもお茶を通して作法を学び、四季を感じながらお茶を楽しんでいきたいです。お茶は敷居が高いと思われがちですが、茶室にいる時は至福の時間です。興味があればお茶を楽しんでみてほしいと思います。

あいとキッズ

きょうだい仲良く元気に楽しく

南部支所（温海）管内
五十嵐（いがらし）　奏斗（かなと）くん(5)
一華（いちか）ちゃん(3)・橙生（とうせい）くん(4カ月)

好きなものには一直線で優しすぎるお兄ちゃんの奏斗くんは、ブロックや本を読むことが好き！将来はミニカーやおもちゃのお店屋さんになりたい🚗

やんちゃ盛りで負けず嫌いの一華ちゃんは、お人形で遊んだり、体を動かすことも大好き♥大きくなったらメガネとバッグのお店屋さんになりたい👜⭐

体も大きく手のかからない橙生くんは、手足を動かしながらよく笑うよ👶お兄ちゃんもお姉ちゃんも一緒に遊べるのを心待ちしているよ🚲



家族で水族館へ行きたい🐬



ファミリーファーム

FAMILY FARM

同じ目線で時代に合わせて



三川支所管内　土田（つちだ）　暢郎（のぶお）さん(59)
大夢（ひろむ）さん(26)

（暢郎さん）私は高校を卒業後すぐに就農し、現在、水稲３㌶、大豆１㌶、庄内柿を約100本栽培しています。庄内柿の栽培は面白くてしょうがないですが、異常とも言える気象変動に対応していくことは大変です。それでも「庄内」の名を冠する「庄内柿」を絶やさないために生産者だけでなく、地域ぐるみでの取り組みが必要だと感じています。

今後も経営規模や栽培品目の拡大を検討していきます。また息子には頭ごなしに自分の意見を押し付けず、自分の考えで取り組んでもらい、成功も失敗も自分の糧に庄内柿の栽培を続けていってほしいです。

（大夢さん）私は高校で3年間果樹栽培を勉強し、その面白さを知り、卒業後すぐに就農しました。父からは自分のやり方でやらせてもらい、自分の塩梅やタイミングで作業を進めることができています。自分のやり方で収量、品質、味が上がることは嬉しいですが、天候に左右される部分も大きく、自然には勝てないことを痛感しています。

今後、規模拡大は通らずにはいられないと感じていますが、自分の目の届く範囲でより良い庄内柿の栽培をしていきたいと思います。

庄農生トライ

SHONOSEI TRY

守りたい田園



食料生産科3年 池田（いけだ）　幸将（ゆきまさ）さん



私は、家が稲作経営をしていて農業が身近にある環境で育ちました。農業に強い関心を持っていたわけではない私でしたが、庄内農業高校で稲作を一から学び、自分たちで育てた稲を収穫する経験を通して、農業の奥深さと、食を支える大切さを実感しました。

私の住む酒田市の六ツ新田では農業従事者の高齢化や後継者不足が深刻になっています。私は、この田園風景を未来へ残したいという強い思いから、将来は米農家として、地域の水田を守ることを決意しました。この思いを綴った農業クラブの意見発表は、県大会を勝ち抜いて東北大会で優秀賞を獲得することができました。

将来は、ドローンやAI、アイガモロボットなどのスマート農業を取り入れ、作業の効率化と負担の軽減を目指したいと考えています。今後は県立農林大学校に進学し、農業の知識と技術をさらに深めるつもりです。

生まれ育った六ツ新田の農業を発展させ、豊かな田園風景を次の世代へつなぐこと。それを実現し、私は挑戦し続けます。

人と自然、食べ物と生命、消費者と生産者。みんな絆で繋がっている。

JA NEWS

庄内柿/北海道へ出発

ＪＡ庄内たがわの特産品「庄内柿」の出発式が10月19日、庄内柿中部選果場で開かれた。1200ケースの庄内柿を積んだトラックが、参加者らの拍手に包まれ主要消費地である北海道へ出発した。

出発に先立って輸送・選果安全と高価格販売を祈願する神事やテープカットを執り行い、海藤喜久男組合長をはじめ、庄内農業技術普及課や鶴岡市、ＪＡ全農山形などの関係者ら約20人が安全を祈願した。山伏による法螺貝の合図でトラックが出発し、テープカットで祝った。

2026年産は、天候に恵まれたことに加え、生産者の徹底した管理により着色や肥大状況は良好で着果数も平年並みを確保できている。目立った病害虫被害もなくＬ玉を中心とした出荷を見込んでいる。





甲州/ワインの出来に期待

ＪＡは10月19～20日の２日間、朝日地域にある選果場で月山ワインの原料ブドウ「甲州」の集荷作業を行い、２日間で約13㌧を集荷した。

2026年産は、天候に恵まれ、ブドウの着色や糖度など良好。園芸特産課職員らによる糖度検査でも、糖度は18度～22度と十分に確保できており、生産者らも月山ワインの出来栄えに期待を寄せている。

甲州は、月山ワイン山ぶどう研究所で「ソレイユ・ルバン　甲州シュール・リー」や「豊穣神話　甲州」などに使用される。



庄内柿/目揃会で意識統一

庄内柿生産組織連絡協議会は10月２日、羽黒、藤島、櫛引地域の３ヶ所で庄内柿の目揃会を開いた。生産者170名が参加し、出荷規格を確認した他、高品質な庄内柿の出荷に向けて意識を統一した。

2026年度産は、開花期以降天候に恵まれ、８月下旬から適度に雨が降ったことから果実肥大が順調に進んだ。また、大きな病害虫被害はなく品質も良好である。

園芸特産課職員が、色沢や熟度、形状などの選別基準の説明を行った。



秋冬ネギ/目揃会で規格確認

長ねぎ部会は10月22日、三川町の集出荷場で秋冬に出荷する長ネギの目揃会を開いた。部会員５人が参加し、出荷規格や調整、今後の栽培管理を確認した。

この日は、園芸特産課の担当職員が生育状況や出荷時の留意点、今後の管理のポイントを説明。生育は、９月の断続的な降雨の影響で土寄せ作業が遅れており、10月下旬以降に出荷量の増加を見込んでいる。今後は、降雨対策や病害虫防除を徹底し高品質生産につなげるよう呼び掛けた。



ストック/調整時のポイント確認

花き部会ストック専門部は10月21日、庄内町の花き集出荷場でストックの目揃会を開いた。参加した部会員ら約30人が、出荷規格や調整時の留意点などを確認した。

この日は、園芸特産課の担当者が出荷規格を説明。病害虫による汚染や咲きすぎ、花シミなどに注意するよう呼び掛けた。

調整時は花持ちや見た目をよくするため不要な枝は落とし、開花輪数に注意し適期収穫の徹底で高品質出荷につなげていく。



軟白ネギ/フィルムの適期設置を

長ねぎ部会は13日と15日、管内で軟白ネギの圃場巡回を行った。部会員８人が参加し、圃場11箇所を巡回。高品質生産に向け生育状況や今後の栽培管理を確認した。

この日は、庄内農業技術普及課の担当者と園芸特産指導員が同行。生育は、大きな病害虫被害は少なく太さも揃っており概ね順調に推移している。

同部会は、生育を見ながら適期を逃さずフィルム設置を行い、適切なハウス管理に努めて高品質生産・収量確保につなげていく。



キュウリ/適切な管理を呼び掛け

櫛引地域の下山添野菜出荷組合は10月２日、抑制栽培キュウリの圃場巡回を行った。生産者約10人が参加し、生育状況や今後の栽培管理を確認した。

この日は、種苗メーカー担当者、庄内農業技術普及課の担当職員、園芸特産指導員が同行。2026年産は、低日照な気候だったが生産者の適切な管理により目立った病害虫被害がなく、順調に生育が進んでいる。

今後は、保温管理や病害虫防除を行い、高品質・安定生産に努めていく。



年金友の会/第27回グラウンド･ゴルフ大会

ＪＡ庄内たがわ年金受給者友の会は10月20日、三川町で年金友の会第27回グラウンド・ゴルフ大会を開いた。

この日は、会員150人が５人１組のチームに分かれ２コース16ホールで練習の成果を競い合った。

あいにくの悪天候の中でも、ホールインワンなどの好プレーに歓声を上げながら白熱した試合が繰り広げられた。優勝者をはじめ上位入賞者には、豪華賞品が贈られた。



年金友の会/温泉と食を楽しむ寛ぎ旅

ＪＡ庄内たがわ年金受給者友の会は10月25～26日の２日間、「温泉と食を楽しむ寛ぎの旅」を行った。会員約40名が参加し、会員同士の親睦や交流をさらに深める旅となった。

2026年は、秋田県の増田町の街並み散策や岩手県のメジャーリーガー記念モニュメントの見学、世界遺産「中尊寺」を拝観した。また宿泊は岩手県の新鉛温泉「結びの宿 愛隣館」。プロが選ぶ日本の旅館･ホテル100選に選ばれる旅館を満喫した。温泉、食事ともに参加した会員から大変好評を頂いた。



椎茸/目揃会で高品質確保

椎茸部会は10月24日、三川町のＪＡ青果物集出荷施設で秋冬に出荷する菌床椎茸の目揃会を開いた。部会員ら約20人が参加し、高品質出荷へ向けて選別基準や調整時の留意点を確認した。

この日は、園芸特産課職員が規格や出荷調整時のポイントを説明。傘の裏のヒダ部分が変色したもの、水分を過剰に含んでいるものはパック詰めしないよう呼び掛けた。また、品質を損なうため取り置きせず、パック詰めは必ず清潔な場所で行うよう促した。



月山ワイン/庄内新酒、数量限定で発売

月山ワイン山ぶどう研究所は10月22日から数量限定で「月山ワイン 庄内新酒」を、産直施設んめ農マルシェや同産直施設のオンラインショップ、県内スーパーマーケットで販売している。

2026年の新酒は、庄内地方で契約栽培された「ヴェルデレー」を100％使用したフレッシュでフルーティーなやや甘口のワイン。

ボトルラベルは、庄内伝統の「庄内刺し子」と「はんこたんな」を美しく配し、秋の実りを祝う一品に仕上げた。



アンパンマンたちと交通ルールを学ぶ

ＪＡ庄内たがわとＪＡ共済連山形は10月4日、庄内町文化創造館響ホールで「ＪＡ共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開き、約240人が来場した。

この活動は、アンパンマンたちと歌や踊りを通して交通マナーを楽しく学んでもらい、次世代層とニューパートナーとのつながりを強化することを目的としている。

海藤喜久男組合長は「交通事故にあわないように、楽しく交通ルールを覚えてほしい」とあいさつし、子どもたちと保護者はアンパンマンたちと一緒にアンパンマンたいそうや交通安全にまつわるゲームを楽しんだ。また、イベントの最後に握手会が行われ会場は賑わいを見せた。



©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

庄内町へカーブミラー贈呈

ＪＡ庄内たがわとＪＡあまるめ、ＪＡ共済連山形は10月16日、地域住民の交通安全や事故防止に役立ててもらおうと、庄内町にカーブミラー６基を寄贈した。

ＪＡ庄内たがわの海藤喜久男組合長、ＪＡあまるめの佐藤一彦組合長らが庄内町役場を訪れ、富樫透町長に目録とカーブミラーのレプリカを手渡した。

この取り組みは、地域貢献活動の一環として1973年度から行っており、同町へは、2026年度も含め合計467基が寄贈された。



パルシステム埼玉と稲刈り交流会

生活協同組合パルシステム埼玉とＪＡ庄内たがわ、庄内産直ネットワークは10月３～４日の２日間、鶴岡市で稲刈り交流会を行った。

この日は、パルシステム埼玉の組合員親子ら約30人と役職員、ＪＡ管内の米生産者と職員、庄内産直ネットワークの関係者らが参加。５月の田植え交流会で植え付けした県産米「つや姫」を手刈りで収穫した。刈り取られた稲は天日乾燥し、パルシステム埼玉の組合員向けに販売される予定だ。



つるおか大産業まつりへ出店

ＪＡは10月17～18日の２日間、小真木原運動公園で行われた「つるおか大産業まつり」に青年部、女性部とともに出店した。

ＪＡは、女性部と協力して特産の庄内柿をはじめとする旬な農産物の他、庄内豚で作ったブロックベーコン、月山ワインや月山ぶどう果汁などを限定価格で販売。また青年部は豚肉と味噌で作る庄内の芋煮とおにぎりを販売した。購入者の顔には笑顔があふれ、会場は大いに賑わいを見せた。



令和9年度 職員採用募集

【大学・短大・専門学校】（新卒・既卒）・【高校】（既卒）・【社会人経験者】の皆様からのご応募をお待ちしております。

1次試験　日時　令和８年11月26日㈭　午前８時45分受付
会場　庄内たがわ農業協同組合 本所（山形県鶴岡市上藤島字備中下３-１）

応募受付　令和８年11月20 日㈭ **【必着】**

2028(令和10)年卒の学生の皆さんを対象とした『オープン・カンパニー』の開催

詳細は『マイナビ2028』から『庄内たがわ』でご検索ください！



お問合せ　庄内たがわ農業協同組合 経営企画部人事教育課　TEL0235-64-4922
※当ＪＡのホームページにも要領等の詳細を掲載しております。

「心の声」12月号投稿のテーマ

「いま、一番欲しいもの」

今月のプレゼント

庄内新酒　1名様



【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え（本紙やホームページ等で掲載致します）②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など
【あて先】JA庄内たがわ広報情報係
〒999-7611
鶴岡市上藤島字備中下3-1
E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp
【しめきり】令和8年11月30日㈰当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

議案報告　理事会だより

令和8年10月29日㈬

《議案》
第1号　令和8年度9月末実績検討について
第2号　令和8年度上期座談会意見・要望に対する回答について（案）
第3号　各就業規則・給与規程の変更について（案）
第4号　市町に対する令和9年度農林予算編成の要請について（案）
第5号　令和8年度 生産資材及び飼料価格高騰に対する利用還元の実施について（案）
第6号　共済規程の一部変更について（案）
以上6議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

《報告事項》
・組合員の異動について
・㈱あいとサービス上半期仮決算について
・羽黒・のうきょう食品加工㈲上半期仮決算について
・ALM委員会の協議結果報告について
・令和8年度上半期内部監査の結果について
・令和8年度上半期クロスチェックの実施状況・結果について
・組織会計事務取扱要領（要101の1）および組合員組織代表者への確認にかかる手続細則の一部改訂について
・ヘルプライン運営要領（C123）の一部改訂について
・令和8年度第2四半期余裕金運用体制にかかる検証結果の報告について
・令和8年度貯金者データ整備の取組み状況について
・第3四半期の余裕金運用方針について
・両替・金種指定払出手数料（紙幣・硬貨合算）の改定について
・令和8年度 JA共済コンプライアンス点検結果について
・その他





デイサービス
えがお・デ・あいと　活動紹介



えがおでつなぐ長寿会
～いつもありがとう、これからもお元気で～

９月は皆様に感謝する会を開催しました。
昼食はお祝い膳。そして職員一つひとつ丁寧に手作りした色紙をプレゼントさせて頂きました。



デイサービス えがお・デ・あいと 8周年を迎えました

10月17日㈮は創立記念日でした。皆様のおかげで8周年を迎える事が出来ました。感謝申し上げます。昼食は今が旬な芋煮汁でお祝いをしました。季節のものを食べてますます健康になりましょうね　9年目もどうぞよろしくお願い致します!!!



総務部福祉介護課　TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166
E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp



庄内町 秋のフラワーショー開催!

町内花き生産者の皆さんが心を込めて育てた花の品評会です。ストックなどの季節の花のほか、フラワーアレンジメントも展示します。ぜひお越しください。

≪花の展示≫ ●日時／11月19日㈭ 13:00～ 21日㈯ 11:00
●場所／響ホール
≪花の販売≫ 展示した花をお買い得価格で販売します。購入希望の方は、事前に抽選用紙の投函をお願いします。詳しくは町ホームページをご覧ください。
●抽選受付／11月19日㈭ 13:00 ～ 21日㈯ 11:00
●購入受付／11月21日㈯ 13:00 ～ 14:00
■問合せ／庄内町花き振興会事務局（庄内町農林課農産係）
☎0234-42-0178

JA庄内たがわ 産直 んめ農マルシェ
11・12月イベントのお知らせ



11/21㈯～22㈰ 月山ワインフェア ジンギスカン試食販売

月山ワイン（原液・ジュース含む）　商品10%割引
専用箱・袋などは対象外
11時頃～13時頃まで
北海道直送の「松尾のジンギスカン」を試食販売いたします。



12/12㈯～13㈰ みかんまつり

箱売りもご用意しております。
JA静岡市、JA紀の里より直送のみかんを販売

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

※写真・イラストはイメージです。予告なくイベント内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。
10月から3月までの営業時間9：00～17：00(定休日：1/1～3，1～3月の第2・第4水曜日)なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。
変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1　TEL0235-25-6778
FAX0235-26-7880　E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

オンラインショップ
産直んめ農マルシェ　検索

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています！

令和8年度 フラワーアレンジ教室

日　時　令和８年12月５日㈯ 午後１時30分から４時
（午後１時10分から受付します）
会　場　庄内ＪＡビル　512会議室
主　催　庄内花き生産組織連絡協議会
内　容　フラワーアレンジの作成
講師：三浦淳志 氏（みうら生花店・花蔵）
参集範囲　管内の花き生産農家、組合員、一般消費者（定員50名）
（小学生以下参加の場合は保護者の方同伴とします）
参加費　1名につき2,500円（花材代）
※現金のみ。当日徴収いたします。
申込期限　令和８年11月20日㈭まで
※花材手配のため、期限厳守
下記ＪＡ全農山形園芸庄内推進室まで申し込みをお願いいたします。
※先着順のため、申込期限前に定員に達した場合は、その時点で締め切らせていただきます。（お申し込みの際、必ず日中連絡のつくご連絡先をご報告ください。）

お問い合わせ・お申込先　全農山形園芸庄内推進室 今野
TEL：0234-26-5255　FAX：0234-23-7731



里芋部会

私たち里芋部会は、管内生産者20人で約200㌃で里芋を栽培しています。

山形県の秋の味覚を代表する「芋煮」の主役である里芋は、ねっとりとしてやわらかい食感が楽しめます。これからの季節、河原での「芋煮会」や各家庭、地域行事などで家族や友人などと一緒に鍋を囲み、体も心もホカホカに温めて下さい。

「心の声」 今、推しているもの

たまごっちを推します。子どものために購入したのですが、30年前の血が騒ぎ、現在は自分が必死に育てています。
M・Kさん【京都府】

今、私が推しているものは「箱根駅伝」。毎年10月の予選会からチェックして今年の本大会出場校を予想したりしています。「予選会」はスマホで見たらテレビの再放送を見て大画面で選手の体調を確認します。正月が近づくと箱根駅伝特集は録画します。正月の箱根駅伝はスタート前に起きて途中で立たなくていいように飲み物やおやつを用意してゴールの瞬間まで見逃しません。今年も楽しみでワクワクしています。
K・Yさん【鶴岡市】

頂いた1枚から始まった「手ぬぐいアート」です。
簡単な額に入れ季節に合わせ飾ります。交換した際にはクルクルとラップのように巻き、しわにも成りません。
E・Hさん【庄内町】

中学時代からサンレモ音楽祭でカンツォーネなど大好きでレコードを求めたり音楽が大好きで今は、朝出勤途中にアンディ・ウィリアムスの曲を♪♪
高校時代に見た「ある愛の詩」の映画のメロディ。その中の一節で英語の時間に先生は「愛とは決して後悔しないこと」「Love means never having to say you're sorry」と教えてくれて今でもはっきり覚えています。アンディの甘い声、素敵なメロディに涙する時もあり、私の唯一の癒しのひとときです。ぜひ、聞いてみては♪♪
Y・Sさん【鶴岡市】

若手の演歌歌手が増えてきました。母が青山新さんを推しています。
H・Kさん【愛知県】

今からは動物が飼えないのでペットショップでちょ～可愛いワンちゃん猫ちゃんに癒されてまぁ～す
E・Sさん【鶴岡市】

JA庄内たがわ aito Nov 2026 No.380
発行／庄内たがわ農業協同組合　〒999-7611　山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1
TEL.0235-64-3000　E-mail tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会

ホームページ　X（旧Twitter）　Instagram